

PTA かながわ



発行者 神奈川県PTA協議会 事務局 〒231-0002 横浜市中区海岸通3-9 横浜ビル302B号室 電話 045 (228) 7520 FAX 045 (228) 7541

印刷所 創文社

会長という職に就き、各郡市町村から選出された理事さん達との活動も早半年が過ぎました。今回は、その活動の中で気付いたことや、そこから私たちが今年度の活動として取り組んでいることなどを、会員の皆さまに御報告しておきたいと考えます。

まず運営の基本方針として「開く」ということを心掛けております。私自身が県の活動に携わり始めた頃の感想は、県PTAの解りにくさでした。当時の中心メンバーも、むしろ広報活動には力を入れ、県協議会としての役割を力説し始めていたのですが、如何せん多くの皆さんの目は、自らの各小中学校のPTAあるいは各市町村の域を出るものではなく、それが近隣学校区や世代の域を超えて広がるべきものであるという意識は、なかなか持てないものではないでしょうか。

しかしながら現代の情報環境の発達、保護者である我々の意識や知識を越え、家庭の中の勉強部屋や居間からでさえ、保護者の知らない、年齢も判らない、時には性別さえ偽ることの出来る環境に、昼夜を分かたず子



神奈川県PTA協議会
会長 笹原 和織

「学校・地域を越え、世代を超えて……
子どもたちのために！」

ども達を繋げることが出来ます。文部科学省の提示する将来の学校像は、地域に開かれた学校、地域の人の協力によって支えられる教育を目指しております。ここに私は各小中学校のPTAがそれぞれを開き、近隣と連携し、県全体のまとまりを見る意義があるだろうと考えています。

そのためにまず私たちが心掛けていることは、県レベルでの議論を出来るだけ「開く」こと。各地域からの代表として「理事会」なる会議が、ほぼ一月に一回程度開かれ、意見交換に十分な時間が取れないことも多いのが実情ですが、各地域の「理事」や選出されている「役員」の方々を通じて、どのような意見が交わされ、また皆さんの意見がどのように生かされているのか、注視して頂けたら幸いです。もちろん私たちのツールの拡充とともに充実させて参ります。

さらに皆さんの活動を地域や近隣に「開く」きっかけ作りを進めて頂くための新規事業『つながる大人の向上心』も立ち上げました。従来の各小中学校PTAや市町村のPTA協議会で閉じていた行事や運営を、近隣の小中学校に、近隣の市町村に、地域の方々に開いて頂きたいのです。そして保護者として、そこから何かを学び取って頂きたいのです。一所懸命にやればやるほどマンネリ感の出るPTA活動に、新たなヒントを得られることもあるでしょう。また職業や地域も異なる出会いに、自らの活動の活力を得るという事もあるでしょう。

襟を正すべき事も含まれている事はもちろんであるとは言え、PTA批判論の多くは、批判する人の偏った経験や狭い視野に基づくものも多いのではないかと、私は考えております。同時に、子ども達の教育や将来の地域環境を真剣に考える保護者も多いと感じます。

しかしながら日々の仕事や子育てに追われ、そのために時間を割くことの出来る人は少ない。その中で少なからぬ人々が時に孤独感を感じ、焦燥感にさいなまれたりすることも多いのではとも思われるのです。この新しい事業がそのような人々を、学校や地域を越えて、世代を超えて繋ぎかけになることを願っています。

～作り手と読み手の心をつなぐ～ どの広報紙も力作ばかり!!

平成26年度 ◆神奈川県PTA協議会 広報紙コンクール結果◆

賞	受賞団体(PTA名)
最優秀賞(会長賞)	茅ヶ崎市立緑が浜小学校P.G.T.
優秀賞(県教育長賞)	綾瀬市立綾西小学校PTA
優秀賞(神奈川新聞社賞)	秦野市立渋沢中学校PTA
優良賞	茅ヶ崎市立浜須賀小学校PTA
〃	綾瀬市立寺尾小学校PTA
〃	伊勢原市立中沢中学校PTA

奨励賞	受賞団体(PTA名)
横須賀市立衣笠中学校PTA	秦野市立西小学校PTA
横須賀市立鷹取中学校PTA	伊勢原市立竹園小学校PTA
三浦市立名向小学校PTA	大磯町立大磯小学校PTA
鎌倉市立御成小学校御成会	大井町立上大井小学校PTA
藤沢市立高浜中学校PTA	松田町立松田小学校PTA
寒川町立寒川小学校PTA	厚木市立清水小学校PTA
相模原市立藤野南小学校PTA	厚木市立睦合東中学校PTA
相模原市立富士見小学校PTA	小田原市立新玉小学校保護者と教師の会
相模原市立陽光台小学校PTA	小田原市立富士見小学校PTA

◆日本PTA全国協議会 広報紙コンクールに入賞◆ 日本教育新聞社 社長賞 秦野市立渋沢中学校PTA



第47回 関東ブロックPTA研究大会 横浜大会

平成27年10月24日(土)～25日(日)に関東ブロックPTA研究大会横浜大会が、「子どもの生きる力(知・徳・体・公・開)想いをつなぐ教育文明開化～子どもたちと見する未来への船出～」をスローガンに、横浜市内6ヶ所の分科会及びパシフィコ横浜国立大ホールにて全体会がともに盛大に執り行われました。

菊池桃子氏を講師に迎え、キャリアやジェンダー・ギャップ(性別偏見)についてジェスチャーを交えながらわかりやすい記念講演が開催されました。

今後さらに進む少子高齢化社会の現実と将来、人材の多様性を模索し性別の偏見を無くしていく事、これらを解決していくことで、更なる雇用が生まれ、より多くの子どもたちの将来が開かれる機会が広がる事を学ぶことができました。



全国から北の大地に集結!

第63回 日本PTA全国研究大会 札幌大会

平成27年8月21日(金)～22日(土)に「ひろがれ!子の未来(ゆめ) つながれ!親力 ～今 札幌から始まる、これからのPTA～」をスローガンに掲げ、開催されました。

21日は市内10会場で分科会が開催されました。私は第5分科会の「子ども一人一人を育むための『地域連携』のあり方」に参加しました。子どもたちを取り巻く環境の変化、また核家族化に伴い、親とは異なる目上の人との関わり方など、家庭・学校・地域が連携協力し合い、その橋渡しがPTAの大きな役割であるということ学びました。他の分科会でも様々なテーマをもとに活発な学び合いがなされたようでした。

22日は北海道立総合体育センターにて全国からの参加者約7000人が一堂に会し、全体会が行われました。

記念講演では講師に脚本家の倉本聰氏をお迎えし「あなたは子どもたちの想像力を育てていますか」を演題とした記念講演がありました。倉本氏自身の学童疎開での経験や、役者やライターを養成する「富良野塾」での実話など、ユーモアを交えながらのお話でした。特に、現代を生きる子どもたちには、物質面ばかりではなく心の豊かさを与えてほしい。このことは大人である私たちの責任であるという言葉がとて印象に残りました。



第57回 神奈川県PTA大会

「神奈川県PTA協議会」発祥の地！ 茅ヶ崎にて開催!!

「一人一人の活動が、そして意味づけが、オール神奈川のPTAを支え、変えていく！」を大会スローガンに掲げ、平成27年11月12日（木）茅ヶ崎市民文化会館大ホールにて開催いたしました。



開会式

【基調講演】 あべ美佳 氏『子供に選ばれた父へ、母へ』

減反政策と米消費の落ち込みから「米農家」からの転身を決意したお父様は、山形でのスイカ栽培に初めて着手。そしてお母様は、それを国道で直販することを初めて手がけた女性。スイカ栽培と直販が軌道に乗ると、次の研究は「タラの芽栽培」。「わたしの父母は、苦勞して、工夫して、やっと出来るようになったものを、みんなにただで教えてしまうんです。」長い歳月を経て今や夏の山形尾花沢の国道沿いには、農家の直販ショップが建ち並びます。もはやブランド化した「尾花沢スイカ」にサクランボやズッキーニなどの珍しいヨーロッパ系の野菜、赤カブ漬など、田舎ならではの珍しいものが売られています。タラの芽は、今や料亭に行かずとも春先の都会のスーパーでも売られています。両親の試みが成功し、次第に周囲の目が尊敬の眼差しに変わって行き、さらに農事から直販の仕方までが周囲に拡がり農村生活を変えていくことも、あべさんは半ば呆れて見ていたそうです。

後半は御自身の就職から脚本家になるまで、そして小説を書き映画化を目指すまでのお話です。平凡なOL生活から、何かを生み出す生活に憧れたこと。ひょんなきっかけから脚本家を目指し、最初の作品が農家を扱うものであったこと。そして志田周子という生涯を僻地医療に捧げた女医との出会い。その小説化から映画化までに様々な壁にぶつかり多くの方々の協力を得る中で、自分の生き方や活力の源が、ご両親にあることを強く意識するようになったと指摘します。

私たちはまず人としての矜持や人生をいかに生きるかを考え、親としても生きねばならない。そしてそれを子ども達に見せることで、子ども達自身が、知らず知らずのうちに学んでいることを強く意識しなければならない。そんな事を学んだ講演でした。

会場との質疑で「今の子は夢とか理想とか、昔の子と違って希薄な気がするんですが」との問いに「今の子ども達が与えられすぎているからでは」という回答。「習いごと物も、情報でさえも溢れかえるこの時代では、満たされるものが多くて、飢餓感や理想というものを得にくいのではないのでしょうか」との指摘です。足りないのは自分と向き合う時間だけ。これも深い指摘だと思います。



あべ美佳氏

【実践発表】 大会での発表が今後の活動の糧となりました！

寒川町PTA連絡協議会

実践発表ってなんだろう！？ こんなことから始まった今回の実践発表でしたが、このような機会に恵まれて、改めて自分たちの活動環境を知ることになりました。当日は、「みんなが家族」～子どもの笑顔でつながるまち～というテーマで発表をさせていただきましたので、簡単に紹介を致します。

寒川町PTA連絡協議会は、昭和36年に「寒川町PTAの健全な発展を図ること」を目的に組織されました。寒川町内にあります小・中学校8校すべてが所属しており、組織率は100%です。町P連は、各単位PTAの正副会長・校長・教頭を理事とし、役員は各単位PTAの会長が受け持ちます。また、町P連には、各単位PTAの活動に資するために、ふれあい部会、広報部会、校外部会の3部会を設けています。部会は、各単位PTAが受け持ち、他に各単位PTAと3部会を取りまとめる、事務局担当校があります。これらすべてを、輪番制とし各単位PTAで分担をしております。各部会は、担当する単位PTAから役員を輩出し一般部会員は、各単位PTAからその対応する委員会より2名以上を派遣することになっています。町P連は、他の市町村郡PTAにはない特徴的な組織運営をすることにより、町全体の単位PTAと共に活動を行うことが出来ます。そして、町P連の各部会の活動から、各単位PTA同士の連携を深め、寒川町全体のPTAの発展を図っております。そのすべては、子ども達の笑顔と健やかな成長の為にあり、保護者と教職員が協力し合い、笑顔でPTA活動することにより、その笑顔が寒川町すべての子ども達の笑顔につながることを信じ今後も活動が続けて行きます。



寒川町PTA発表者の皆さん

【実践発表】 笑心(えがお)～子ども達の笑顔で紡ぐ思いやりの心～

秦野市PTA連絡協議会

秦野市の人口約16万8千人（5月現在）のうち、小学生8,392人、中学生4,178人が市内の公立学校で学んでいます。市内には小学校13校、中学校9校があり、私達は、この22PTA団体を取りまとめ、秦野市PTA連絡協議会として活動をしています。

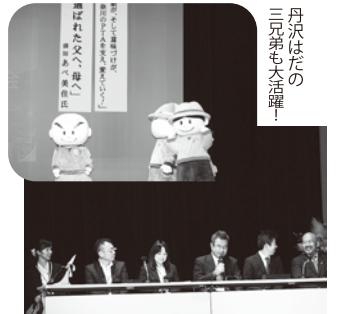
今年度は、笑心(えがお)～子ども達の笑顔で紡ぐ思いやりの心～をスローガンとして掲げています。いじめ問題や携帯・SNSに関わる諸問題、不登校等多くの問題が生じ、子ども達を取り巻く環境も大きく変化する中、子ども達の心からの笑顔を見るための代表的な取り組みをご紹介します。

南が丘中学校PTAにはワンデースポーター制度があります。

「委員でない保護者も、PTAの手伝いに必ず1つは参加しましょう！」を合言葉に、数ある手伝いのいずれかに登録いただく制度です。委員の負担も軽減され、毎年登録率は100%以上で、全員参加型のPTAとなっています。

上小学校は、全校児童83名の秦野市で一番児童数の少ない学校ですが、PTAと児童の深い絆と団結により様々な特色ある行事を行っています。遠泳教室は、6年生の夏休み前に、真鶴町にある岩海岸で、PTAの伴泳者と共に沖に向かって500mを2回、休憩を挟んで泳ぎます。グラウンドには土俵もあり、毎年相撲大会が行われます。昨年度は、大相撲秦野場所が開催に際し、6年生全員が招待され、実際に横綱や大関と相撲を取りました。PTAでは秦野場所の土俵の片付けを手伝い、頂いた土俵の土で学校の土俵の修復も行いました。

秦野市P連は子ども達の笑顔の連鎖がお互いの心に響き、他人を思いやる第一歩になるのではないかと考え、今後も皆で協力し様々な活動を行っていきます。



秦野市PTA発表者の皆さん

参加者の方々から貴重なご意見・ご感想をいただきました。 ありがとうございます！

◆ 対象人数 約600人 ◆ 回答人数 267人

◇ 講師 あべ 美佳氏 「子供に選ばれた父へ、母へ」の講演はいかがでしたか。——
よかった … 204 ふつう … 56 良くなかった … 4 無回答 … 3

- 聞きやすかった、良かった、大変楽しかった、など。
- 自分の子育てを色々考えました。励みになりました。
- 自身の体験をふまえてのお話は入りやすく興味深かった。
- 「大丈夫」の言葉がひびきました。
- 選んでくれた自分の子・自分の親にも改めて感謝したいと思いました。
- 物質的に恵まれていても心が育っていくには、それだけではいけないと思った。
- 親として「子どもから見られている」意識を持ちたいと思います。
- 日常の中に輝く親子のつながりがあるなと先生の話をきいて、もっとアンテナをはりたいと思った。
- 子ども達に聞かせてあげたい。
- 脚本家としての話だけのほうが面白そうだった。PTA向けではない？
- 質問タイム打ち切りは残念でした。どうしても質問したいことがあった。

※ 講演中、スマホで講師を撮影している人がいて気になった。注意するべき。
回答「掲示物・会場案内等に対応させて頂いておりますが、今後講演中の会場スタッフを増員し、注意をさせて頂くことも検討致します。」

◇ 大会(発表・全体)についていかがでしたか ——
よかった … 134 ふつう … 123 良くなかった … 5 無回答 … 5

- 他市・他校を知る良い機会になりました。
- 発表は今後の活動にとっても参考になりました。
- 表彰を時間短縮してほしい。 ○ 来賓がおおすぎる。挨拶が長い。

※ 形式的な表彰は無くても良いのでは。
回答「表彰される団体や個人の方々にとっては、これまでのご苦労が顕彰される大切な場であるといえます。また私たちにとってもそれをお祝いすべき大切な場であると考えますが、どうでしょうか。ご理解頂ければ幸いです。」

※ 会費をとっての強制参加の意味がわからない。
回答「参加費はこの大会の開催と運営に関わる経費であり、無料化は年会費の問題につながります。多くの方々が有意義であったとお考えになり、各校に戻られての活動に有意義なものになるように、今後とも努力して参りたいと考えております。」

◇ 平日の午後開催について御感想をお聞かせください。——
よかった … 50 ふつう … 122 良くなかった … 95 無回答 … 0

- 場所的に良かった。午後開催でよかった。
- 子どもより先に帰れる時間に終わってほしい。
- 土日開催のほうが良い。
- 午前開催のほうが良い。 ○ 開始時間がもう少し遅いほうが良い。 ○ Tの参加ができないのでは？

※ 各家庭のことを考えていない。子供を放ってPTA活動とはおかしい。
回答「ご指摘の点はもっともであり、私たちPTAの活動は、「できる人が・できる時に・できることを」が基本であると考えます。大会等の開催日程に関しては、今後とも多くの方々のご意見を頂戴し、工夫をして参りたいと考えます。」

◇ その他なにかお気づきの点などで自由にお書きください。——

- 役員・発表者・事務局のみなさま、お疲れ様でした。
- 講演は今後とも是非、続けていってほしい。
- 前の方の空席が目立つ。（途中で帰らない工夫を）

※ PTAが批判されるのはこういう大会があるからでは、と誤ってしまふ。（毎回そう思う）
回答「多くの方々が有意義であったとお考えになり、各校に戻られての活動に有意義なものになるように、今後とも努力して参ります。建設的なご意見を頂ければとも、お願い致します。」

※ もっと大勢参加できると良い
回答「多くの方々にご参加いただけるよう、開催時間や開催地、また内容についても検討していきたいと思います。」

※ PTAという子どもの為の団体なのに小学生の帰宅時間を無視。アンケートで意見を聞く気がないならアンケートは必要な と思う。
回答「これまでも、土曜日開催、平日開催を各年で実施したり、数年前までは午前午後の一日程を半日開催にしたりと、アンケートをはじめとする多くの皆さまのご意見を参考に改善してまいりました。今後ともより充実した大会となるとよう、努めて参りたいと思います。」

子どもたちのために頑張っているPTAを応援したい！
つなぐれ！！ オールかながわ！！

益田	永井	保坂	太田	岡田	北村	清水	松岡	新倉	山本	秦
麻衣子 （小田原市）	廣子 （相模原市）	敦 （綾瀬市）	朋子 （平塚市）	恭子 （小田原市）	千波 （小田原市）	紀人 （三浦市）	かおり （葉山町）	清隆 （鎌倉市）	哲 （寒川町）	芳生 （海老名市）
大木邦男 （座間市）	鮎沢一亨 （秦野市）	秋元和広 （中郡）	鷺塚拓郎 （平塚市）	高橋政幸 （南足柄市）	鈴木雅人 （足柄上郡）	馬場由昌 （足柄下郡）	磯崎武志 （小田原市）	菊地新 （厚木市）	高橋誠 （愛川町）	工藤道尚 （清川村）

■ 团体表彰

鷹取小学校PTA

鷹取小学校 P T A	(横須賀市)	相武台東小学校 P T A	(座間市)
逸見小学校 P T A	(横須賀市)	綾西小学校 P T A	(綾瀬市)
鴨居小学校 P T A	(横須賀市)	堀川小学校 P T A	(秦野市)
鷹取中学校 P T A	(横須賀市)	南中学校 P T A	(秦野市)
沼間小学校 P T A	(逗子市)	大田小学校 P T A	(伊勢原市)
旭小学校 P T A	(三浦市)	二宮中学校 P T A	(中郡)
葉山小学校 P T A	(葉山町)	金田小学校 P T A	(平塚市)
山崎小学校 P T A	(鎌倉市)	勝原小学校 P T A	(平塚市)
中里小学校 P T A	(藤沢市)	中原小学校 P T A	(平塚市)
茅崎小学校保護者先生の会 (茅ヶ崎市)		南足柄小学校 P T A	(南足柄市)
寒川小学校 P T A	(寒川町)	寄小中学校 P T A	(足柄上郡)
東林小学校 P T A	(相模原市)	湯河原小学校 P T A	(足柄下郡)
富士見小学校 P T A	(相模原市)	白田中学校父母と教職員会	(小田原市)
二本松小学校 P T A	(相模原市)	国府津中学校 P T A	(小田原市)
内郷小学校 P T A	(相模原市)	南毛利小学校 P T A	(厚木市)
下福田小学校 P T A	(大和市)	依知中学校 P T A	(厚木市)
下福田中学校 P T A	(大和市)	高峰小学校 P T A	(愛川町)
海老名小学校 P T A	(海老名市)		

..... 大人の背中 ～学校の応援団として～

「一人一人の活動が、そして意味づけがオール神奈川のPTAを支え、変えていく！」
神奈川県PTA協議会は年間を通して以下のような活動を行っています。3つの委員会が柱となったものと、県PTA全体で取り組む活動とに分けてご紹介します。

教育力向上委員会	○ 県教育行政との連絡会 7月10日(金) 横浜歴史博物館にて開催。県教育委員会の取り組みを知り、保護者の立場からの疑問点や意見を交わす貴重な場となっています。 ○ 県公立小中学校長会との教育懇談会 12月4日(金) 厚木シティプラザにて開催。①開かれたPTAの組織運営について②インターネット・携帯のルールづくりについて二つのテーマに沿ってグループ懇談を行いました。今後のPTA活動や学校現場に生かしていけるよう、学校と保護者、それぞれの立場からの思いを話し合いました。 ○ 神奈川県教職員組合との教育を語るつどい(2月18日開催予定)
教育環境委員会	○ 県教育行政に対する要望活動 各市町村郡PTAからの意見や要望を取りまとめ、提出し、その回答をもとに次年度の教育懇談会へとつないでいます。 ○ 教育環境に関する保護者の意識調査アンケートの実施 今年度はこれまでの調査内容の整理、また今後の活動にどう生かしていくかなどを検討し、実施の趣旨目的を明確にしたいと考えています。
広報見える化委員会	○ 広報紙「PTAかながわ」の発行 ○ ホームページの管理
全 体 事 業	○ 神奈川県PTA大会(11月12日茅ヶ崎)○ 県PTA講演会(1月21日海老名)○ 単位PTA・市町村郡PTA・ブロックPTAとの連携(助成事業) ○ 日本PTA大会・関東ブロックPTA大会への参加○ PTA表彰・広報紙コンクール表彰

神奈川県PTA協議会
事務局移転のお知らせ

住 所…〒231-0002
横浜市中区海岸通3-9
横浜ビル 302B号室

連絡先
県P協議会…045(228)7520
安全互助会…045(228)7521
FAX(共通)…045(228)7541
E-mail kaminokidai@pta-kanagawa.gr.jp

ホームページのご案内
<http://www.pta-kanagawa.com/>



神奈川県PTA協議会安全互助会のご案内

神奈川県PTA協議会に所属する小・中学校PTAが団体として加入する保険です。
年会費＝1世帯100円
(27年度 神奈川県PTA協議会加入PTA 535校のうち互助会加入PTA 495校)

PTA 活動中に生じた傷害・事故に保険金・お見舞金を給付いたします

□ 傷害保険

- 保 険 金 (保険会社より) …入院日額3,000円・通院日額1,090円
- お見舞金 (安全互助会より) …入院日額10,000円・通院日額5,000円

お支払い事故例	保険金	お見舞金	お支払い総計
親子体験教室の最中に校庭の鉄棒から落下。 通院8日間。ギブス装着。	通院+ギブス 39,240円	通院 5,000円	44,240円
役員会終了後、帰る途中に転倒。 じん帯が切れて日帰り手術をした。 通院39日間。	手術+通院 61,560円	通院 5,000円	66,560円
運動会のPTA種目において、リレーで 走った際に人とぶつかり転倒。 靭帯手術をし、入院26日+通院5日	手術+入院+通院 130,000円	入通院 15,000円	128,000円
バレーボールの練習中に突き指をして 1日間通院した。	通院 1,090円	通院 5,000円	6,090円

□ 賠償保険 過去のお支払い事故例

- ・PTA主催のソフトボール練習中、打ったボールが学校の窓ガラスを割ってしまった。
- ・PTA主催のお祭りで荷物を運ぶ際、止まっていた車に傷をつけてしまった。
- ・PTA行事のため、学校から借りていたテントが風で飛ばされて壊れてしまった。

◆ 問い合わせ先 安全互助会 事務局 TEL. 045-228-7521 FAX. 045-228-7541

編集後記

今回、広報紙の作成に初めて関わった私は、広報委員さんの大変さを身にしみて実感する事ができました。(小学校PTAで広報委員長をしていたカミさんに頭が上がりません・反省)発行が予定よりずいぶん遅くなってしまう、その分たくさんさんの記事をお届けしたいと思いつきました、お伝えできたかどうか、またまた反省です。

さて、次回89号の内容を少しだけお知らせしちゃうます！

県内各市町村の先輩(中学生や高校生)から後輩(この春卒業する皆さん)へ向けてのメッセージを載せた卒業記念紙を予定しています。ぜひ、お子様と一緒に読んでいただけたら幸いです。お楽しみに！

「広報見える化委員会T・T」

『かながわ子どもセーフティプラン24』(こども総合保険・自転車総合保険)

当制度は、児童・生徒のケガや賠償事故等、日常生活中に想定される様々なリスクに対応した制度です。

『かながわ子どもセーフティプラン24』の7つの特長 ●このご案内は、制度の概要を説明したものです。詳細は右記のお問合せ先までお問い合わせください。

- 特長その1 お子さまがケガをした場合の治療費用を補償(健康保険の3割自己負担分、差額ベッド代、入院時の交通費など)
- 特長その2 補償期間(保険期間)中、1日24時間(学校の休みの日も)補償
- 特長その3 お子さまが日射・熱射によって熱中症を発病した場合を補償
- 特長その4 地震・噴火・津波によるケガも補償(一部プランを除く)
- 特長その5 自転車事故に備えた自転車事故重点補償プラン(オプション)をご用意
- 特長その6 適用される割引率 約48%割引(平成27年度実績)
- 特長その7 掛金は便利な口座振替で、中学卒業まで自動更新が可能
(注:私立中学校および神奈川県PTA協議会非会員校に進学された場合は更新できませんのでご注意ください)



※当制度にご加入を希望される方は、右記の【当制度のお問合せ先】までお問い合わせください。

2015年10月現在の内容です。

【当制度のお問合せ先】

取扱代理店/株式会社 ジーアンドケイ・アソシエイツ

神奈川県PTA協議会

『かながわ子どもセーフティプラン24』係

☎ 0120-115-852

(9:00～17:00:土・日・祝日・年末年始を除く)

引受保険会社:AIU損害保険株式会社